

輸出事業計画

(有) 横田水産、品目：冷凍ホタテ貝柱

1. 輸出における現状と課題

【現状】

- ・現在、国内販売のみで輸出は行っていない。米国へ輸出を行っている丸ウロコ三和水産（株）とグループ会社となり、米国への輸出事業に係るノウハウを有したため、輸出を開始する。
- ・商社からは輸出開始のため、随時ヒアリングしており、米国では現地でのホタテの減産や日本食ブームの影響があり、日本産ホタテの有望な市場として注目されているというホットな情報を得ている。米国では加水された加熱用ホタテが主流であり、生食用ホタテは馴染みが薄いとされている。そのため、日本産ホタテの強みである新鮮さを生かした生食用としての新しい食べ方を米国人消費者に浸透させることでよりニーズが高まるという話を踏まえ、輸出先の選定を行っている。併せて、輸出状況や価格相場等の情報も共有されている。

【課題】

- ・現在の加工工場は約90年前に建設したものであり、現状のままではHACCPの要件を満たさない。また、認証取得のため、一部改修工事をするだけでは、他品目の毛ガニやサケの加工ラインとの切り離しが難しいことや、老朽化の課題もある。

2. 輸出事業計画の取組内容

- ・農林水産物・食品輸出促進対策整備交付金（食品産業の輸出向けHACCP等対応施設緊急整備事業）を活用し、HACCPの認証基準を満たしていない現状の加工工場を新設し、米国への輸出を開始する。
- ・新設の工場では、衛生コンサルを入れた指導のもと、衛生的に加工を行えるようハザードコントロールを行い、HACCP対応工場として対米への輸出拡大を図る計画。

【現在】

商流は無し

【今後の商流の展開】



弊 社



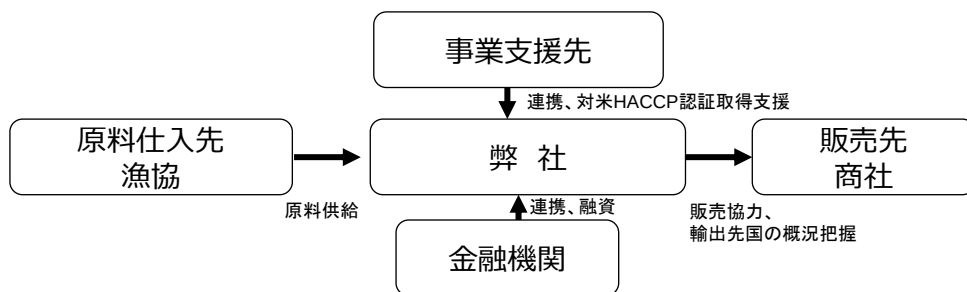
輸出事業者



アメリカ

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制

連携体制



4. 輸出目標額

冷凍ホタテ貝柱の工場を整備し、米国向けに冷凍ホタテ貝柱の輸出を増強することで、輸出額の増加を目指す。

	現状（2024年2月期）	目標年度（2031年2月期）
輸出額（千円）	0	75,000
輸血量（t）	0	25
輸出国	なし	アメリカ